

# ナイチンゲール平和の灯運動 ～世界平和を祈り、看護の心をつなぐ～

カテゴリー：④連携（地域・看護学校間）



## 学校概要

学校名：専門学校 北九州看護大学校  
所在地：福岡県北九州市小倉南区春ヶ丘 10-15  
課程名：3年課程 1学年定員数：40名 修学年限：3年

## 内容

### ＜ナイチンゲール平和の灯運動とは＞

被爆直後の広島で採火された「平和の灯」が灯り続ける「ヒロシマ原爆の残り火」を「ナイチンゲールの灯火」として第二の原爆投下予定地であった北九州市から実際に投下された長崎へ看護学生が徒歩で平和の想いをつなぐ運動。戦争の悲惨さを風化させることなく、核兵器廃絶と世界恒久平和の実現促進への小さな一歩になることを念願し、西南女学院大学 教授 中島俊介先生の呼びかけで2021年8月から自校が出発校となりスタートした。

### ＜参加校と運動日程＞



- ・歩く道りは決して楽ではなかったが参加して自分の中で看護についてももう一度考えることができた。
- ・「戦争を繰り返したくない」という私たちの熱い想いは灯火とともに後輩に受け継いでいきたい。
- ・友人と一緒に歩いたことで絆が深まったと感じた。また地域の人から声をかけてもらえ頑張れた。
- ・最初は歩くことにどういう意味があるのかわからなかったが、現在も戦争があっている中で多くの人に救いの手を差し伸べたナイチンゲールの話を聞き、私たち看護学生が灯をつないで歩くことの意味がわかった。

### ＜参加学校、教員の想いと願い＞

- ・コロナ禍でイベントを経験できない学生に何かをやり遂げる経験をしてほしいという思いで参加した。歩き終えた学生の表情は清々しく良い経験となった。
- ・看護学生は将来、人の命と密接にかかわります。この運動を通し生や死、人生、平和について深く考えることは看護観、心を育てる肥しになったと感じる。
  - ・平和の灯をつなぎながら「平和」「命の尊さ」そして現在看護の礎、ナイチンゲールの意思・看護の使命について考える機会となり、学生各々が自主性、誠実、信頼、探究、自己洞察などについて何かしら感じとり自己成長につながった。
  - ・平和を願う想いは看護に通じるものです。この運動を通し、当たり前の日常の有難さ、感謝、達成感、チームワーク、絆・様々な学びと感性を育むきっかけをいただきました。

### ＜今後の展望＞

今年8月に第3回「ナイチンゲール平和の灯運動」が福岡・佐賀・長崎9校の看護学校が参加し開催される。年々、参加校が増え学校間の連携等、これからの課題はあるが小さな一歩の行動・実践が大きな変化を促すことを信じ、平和への祈りと看護の心を育む、この運動の定着と拡大のために今後も最大限の支援をしていきたい。

### ＜参加学生の想いと願い＞

- ・自分たちが与える影響はとても小さく狭いものだが、運動を通して一人でも多くの人が戦争の歴史に関心をもってくれれば命の大切さにつながる。
- ・この経験をいかし、当たり前のことが当たり前ができない中でも「命の大切さ」を大事に考えた看護ができるようにしたい。

